

知のフォーラム3rd Stageの「Social Implementation of New Food Technology」を開催

2017年9月20日（水）～22日（金）の3日間にわたり、片平キャンパス「知の館」および青葉山新キャンパス「青葉山 commons」において、知のフォーラム「New Horizons in Food Science via Agricultural Immunology」の3rd stage「Social Implementation of New Food Technology」が実施されました。本セミナーは、1日目（Youth Program）と2日目（Symposium）に、食の新技术が市民にどのように受け入れられ産業界に普及させることができるかといったテーマについて討議を行いました。Youth Programでは、実践的でインタラクティブな例を使用して消費者の評価を測定し、分析する方法について2名の国内招聘講師がワークショップを行いました。消費者評価に関する基本的なコンセプトを共有した上で、Vincenzina Caputo氏に韓国におけるラベリングの実際と消費者の選択について講演が行われました。Symposiumでは、消費者の視点から見た新しい食品技術の普及だけでなく、産業界の視点も含めた議論が行われました。Rodolfo M. Nayga Jr. 氏を招き消費者と健康に関する講演の他、農免疫技術に対する消費者の評価や、利他的な傾向が消費行動に与える影響に関する研究報告が行われました。質疑は活発に行われ、コーヒブレイクや懇親会場においても議論は続きました。3日目は市民講演会として、丹羽真清氏を招いて社会連携の実践を目指した日本語での公開市民講演会を実施しました。



Youth Programの様子



シンポジウムの様子



市民講演会の様子



参加者一同